

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
九州医学技術専門学校		昭和36年5月26日		小丸 検造		〒 852-8053 (住所) 長崎市葉山1丁目28-32 (電話) 095-856-2120		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人九州総合学院		昭和62年7月16日		川越 宏樹		〒 852-8053 (住所) 長崎市葉山1丁目28-32 (電話) 095-856-2120		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
医療	医療専門課程		臨床検査科		平成 6(1994)年度		平成26(2014)年度	
学科の目的	医療分野における優位の人材を養成するために必要な技能を習得させるとともに、社会生活に必要な知識、道徳的人格の育成を、図ることを目的とする。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	臨床検査技師養成施設							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			118 単位	77 単位	単位	41 単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
120 人	96 人		0 人		0 %	9 %		
就職等の状況	■卒業者数(C)		40 人					
	■就職希望者数(D)		33 人					
	■就職者数(E)		33 人					
	■地元就職者数(F)		23 人					
	■就職率(E/D)		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		70 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		83 %					
	■進学者数		1 人					
	■その他							
	(令和 7 年度卒業者に関する令和 8 年 5 月 1 日時点の情報)							
■主な就職先、業界等		(令和7年度卒業生) 長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、佐世保市総合医療センター、社会医療福祉法人春回会、国立病院機構九州医療センター、嬉野医療センター、指宿医療センター、戸田中央メディカルグループ、どうぶつ検査センター他						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無			
	評価団体:				受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL			
当該学科のホームページURL	URL:https://www.kyuigi.ac.jp							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数	単位時間						
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位時間		
		うち企業等と連携した演習の授業時数				単位時間		
		うち必修授業時数				単位時間		
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位時間		
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位時間		
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				単位時間		
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数	118 単位						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数				13 単位				
うち企業等と連携した演習の単位数				0 単位				
うち必修単位数				118 単位				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数				13 単位				
うち企業等と連携した必修の演習の単位数				0 単位				
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)				0 単位				
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して6年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				7 人			
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				0 人			
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				0 人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				0 人			
	計				7 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				6 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

臨床検査科では、医療分野における優位の人材を養成することを目的としており、病院施設関係者等を教育課程編成委員に選任し、医療業界の専門性の動向、医療技術実務に関する知識、技術、技能について、関係者の意見等を十分に反映して、授業科目の開設や、授業の内容・方法の改善・工夫を図っていく方針である。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成・改善を効果的かつ円滑な運営のため、委員会を設置し、委員は校長の求めに応じて、意見交換・提言などの連携を図る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
今村 文章	元 九州医学技術専門学校 校長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	②
金原 俊輔	長崎メンタル株式会社 取締役社長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	②
諸隈 博	元 九州医学技術専門学校 教務部顧問	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	②
南 惣一郎	元 長崎大学病院 検査部 技師長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	③
小丸 検造	九州医学技術専門学校 校長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—
松田 一之	九州医学技術専門学校 教頭	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—
坂口 みどり	九州医学技術専門学校 教務部長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (第1回を5月～8月の間、第2回を1月～3月の間に行う)

(開催日時(実績))

第1回 令和7年8月1日 18:00～19:00

第2回 令和8年3月6日 18:00～19:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

本校の教育課程が基準単位数より多いため、基準単位数に変更し、時間数も必要時間数をクリアできるまで減らす案を学校側より提示、それに対し、教育内容が難しくなり、教科書も厚くなる中で、授業数が減ることへの懸念意見が出された。が、1、2年の余裕を持った授業計画を組むことができるようになる利点、また学力低下を防ぐため、補習・演習の時間を取れるように工夫していく旨を伝え、了承を得た。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

講義や演習、実習で学んだ知識や技術をもとに、実際に病院や施設・機関等で臨床検査技師に指導・助言を受けながら、より具体的・個別的に実務を実践することを目的とし、長期に渡り、臨地実習を行う。また、学内の講義、実習においても、実際に医療施設で臨床検査技師として、働いている方を講師として招き、より医療現場に即した講義、実習を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

事前に、医療関係担当者と本校職員で打合せを行い、実習内容の詳細の決定。事前担当者会議の中で、実習内容、評価の方法等をお知らせする。実習期間中は、担当教員が巡回指導を行い、担当者に実習状況について確認し、その場で合わせて学生への指導も行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
臨地実習 (生理学的検査)	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	循環機能検査、呼吸器機能検査をはじめとして、患者様と直接かかわる業務を学ぶ。	長崎みなとメディカルセンター・長崎大学病院・日本赤十字社長崎原爆病院・諫早総合病院・長崎医療センター・重工記念病院・佐世保市総合医療センター等
臨地実習 (検体検査、血液学的検査)	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	血液成分の組成、形態を見極める技術を駆使し、診断の補助的役割を学ぶ	長崎みなとメディカルセンター・長崎大学病院・日本赤十字社長崎原爆病院・諫早総合病院・長崎医療センター・重工記念病院・佐世保市総合医療センター等
臨地実習 (生化学的検査)	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	採血で得られる検体より病態を把握し、診断の補助的役割を学ぶ	長崎みなとメディカルセンター・長崎大学病院・日本赤十字社長崎原爆病院・諫早総合病院・長崎医療センター・重工記念病院・佐世保市総合医療センター等
臨地実習 (一般検査)	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	尿検体をはじめとして、一般的な病態を把握するための検体を学ぶ	長崎みなとメディカルセンター・長崎大学病院・日本赤十字社長崎原爆病院・諫早総合病院・長崎医療センター・重工記念病院・佐世保市総合医療センター等
臨地実習 (微生物学的検査)	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	各種検体の採取法、保存法をはじめ病原微生物の固定方法などを学ぶ	長崎みなとメディカルセンター・長崎大学病院・日本赤十字社長崎原爆病院・諫早総合病院・長崎医療センター・重工記念病院・佐世保市総合医療センター等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 本校に通う学生が、将来、臨床検査技師として医療現場で働くために必要な知識と技術を身につけさせることが、本校教育の職務であり、その教員に対し職務と責任の遂行に必要な知識、技能などを習得、教員としての指導能力の向上のため、本校の「職員の研修に関する規定」に基づいて企業等と連携を図りながら、職員の専攻分野における研修・研究を行わせる。		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名： 長崎県臨床検査技師会総会研修会	連携企業等：長崎県臨床検査技師会	
期間： 45808	対象：教職員	
内容 令和7年10月に開催される九州支部学会について 各研修部会について		
研修名： 第19回日本臨床検査学教育学会学術大会(岡山)	連携企業等：日本臨床検査技師教育協議会	
期間： 令和7年8月21日～22日	対象：教職員	
内容 「臨床から信頼される臨床検査技師を育てる卒前・卒後教育		
研修名： 日本臨床衛生検査技師会九州支部学会(長崎)	連携企業等：長崎県臨床検査技師会	
期間： 令和7年10月18日～19日	対象：教職員・学生	
内容 開け未来への扉 ～臨床検査の新たな価値を創造～		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名： 全専研定例研修会(佐賀)	連携企業等：全国専門学校教育研究会	
期間： 令和7年11月6日～7日	対象：職員	
内容 学生募集状況、学校関係者評価委員会運営状況等意見交換		
研修名： 長崎県専修学校各種学校連合会教職員研修会	連携企業等：長崎県専修学校各種学校連合会	
期間： 令和8年2月17日	対象：教職員	
内容 ①学校教育法改定について ②防災意識を高めよう		
研修名： 内部質保証人材担当講師 研修会	連携企業等：全国専門学校教育研究会	
期間： 令和7年12月16日	対象：職員	
内容 内部質保証人材を育成する、育成講座の担当講師養成講座		
(3)研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名： タスクシフト講習	連携企業等：長崎県臨床検査技師会	
期間： 46348	対象：教職員	
内容 臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令規定に基づく研修		
研修名： 第20回日本臨床検査学教育学会学術大会(福岡)	連携企業等：日本臨床検査技師教育協議会	
期間： 令和7年8月21日～22日	対象：教職員	
内容 『臨床検査学 次の20年へ！― 目指す未来、実現への課題』		
研修名： 日本臨床衛生検査技師会九州支部学会(大分)	連携企業等：大分県臨床検査技師会	
期間： 令和8年11月7日～8日	対象：教職員・学生	
内容 スパーク！臨床検査～60年の歩みが生み出す新たな輝き～		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名： 中堅職員研修会	連携企業等：職業教育・キャリア教育財団	
期間： 随時	対象：全職員	
内容 新任指導力、リスクマネジメント、学校の経営 等		
研修名： 新人研修	連携企業等：宮崎総合学院・九州総合学院	
期間： 1泊2日 年1回	対象：新入社員	
内容 新任教員のためのクラス運営と授業の極意、 選ばれる学校になるためにあなたがなすべきこと		
研修名： 全専研定例研修会	連携企業等：全国専門学校教育研究会	
期間： 年3回(東京、大阪他)	対象：職員	
内容 学生募集に関わること、第三者評価について		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価を職員が一体となって取組み、自ら学校運営、教育活動を改善していくとともに、特に、学校と関連の深い企業等の関係者、卒業生等からなる「学校関係者評価委員会」を設置して評価を実施し、公表するとともに、この評価に沿った改善を図っていくこととする。また、これらの意見を反映し、学校側の意向に沿ったものに偏らないよう、真に社会が求める職業に必要な実践的かつ専門的な教育を行うことを第一義とし、学生、保護者の意向にも十分配慮した教育内容及び学校運営を目指すことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校教育方針(教育理念)、学校教育目標、重点努力目標
(2)学校運営	教育課程・学習指導
(3)教育活動	教育課程・学習指導
(4)学修成果	教育課程・学習指導
(5)学生支援	生活指導、進路
(6)教育環境	施設・設備
(7)学生の受入れ募集	広報
(8)財務	組織・運営
(9)法令等の遵守	組織・運営
(10)社会貢献・地域貢献	社会人基礎力
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

卒業生からの講話を開催することにより、在校生が将来像を描きやすい。また、国家試験に向けての学習方法等のアドバイスももらえ、意欲向上につながっているのは良いとの評価をいただいた。以前委員より提案してもらった同窓会を活用して卒業生が学生の就職試験のための面接対策などにも取り組んで頂き学生の就職活動にも良い影響を及ぼしている。今後継続して行う予定である。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
金原 俊輔	長崎メンタルヘルス株式会社 代表取締役社長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	企業等委員
伴 美穂子	日本赤十字社 長崎原爆病院	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	企業等委員 卒業
松野 大輔	長崎セントノーヴァ病院 事務次長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	企業等委員 卒業
梶原 恵	神村学園高等部 大村学習センター センター長	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	企業等委員
奥村 亮子	公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	企業等委員
前田 陽二	葉山町自治会	令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年)	元高校教諭

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.kyuigi.ac.jp>

公表時期: 令和8年8月末日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、毎年「自己点検評価、学校関係者評価」を実施。評価結果を学校ホームページで公開するとともに、年次ごとに更新を実施。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	本校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	学科等の教育の状況
(3)教職員	教職員の状況
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育の状況
(5)様々な教育活動・教育環境	主な年間行事、ボランティア活動
(6)学生の生活支援	特別奨学生、奨学金等
(7)学生納付金・修学支援	学費など
(8)学校の財務	決算報告書(資金収支計算書、事業活動収支計算書等)
(9)学校評価	自己点検評価報告書および学校関係者評価議事録
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.kyuigi.ac.jp>

公表時期: 令和8年8月末日